

IS CLEANER

introduce book

IS-1 強酸型洗淨剤

製品の性質	PH値 1 (強酸型洗淨剤)
使用用途	プラスチック製品、金属製品の洗淨、錆取り、スケール取り、カルシウム除去、マグネシウムの軟化除去、
使用方法	○保存方法：蓋つきプラ箱 ○処理方法：浸漬 ○浸漬時間：10分～30分 ○後処理：真水（流水が望ましい）でPH中性に戻す
特徴	○人体に安全 ○金属への腐食はない（アルミの場合は、希釈して使う） ○金型の簡単洗淨、焼きガスへの迅速除去 ○洗淨可能な金属：ステンレス、鉄、銅、真鍮など
注意点	○アルミ洗淨、希釈してから洗淨する ○PH値を注意しながら浸漬する ○鍍金面への洗淨は要注意
実用例	○温調器、チラ水管内部洗淨 ○金型スケール除去、メンテナンス洗淨 ○金属下地処理、水管内部洗淨

IS-2

強アルカリ型洗剤

製品の性質	PH値 12 (強アルカリ型洗剤)
使用用途	プラスチック製品、金属製品の洗浄、錆取り (IS1と合わせ使用) 不動態生成、防錆、プラスチック製品、金属製品の脱脂洗浄。(単独使用)
使用方法	○保存方法：常温保存 ○洗浄方法：超音波洗浄 ○洗浄時間：10分～20分 ○後処理：エアブロー、自然乾燥、 (必要があれば) 真水(流水が望ましい) でPH中性に戻す
特徴	○人体に安全 ○金属への腐食はない(アルミの場合は、希釈して使う) ○金型の簡単洗浄、焼きガスへの迅速除去、 ○金属表面保護、防錆効果、水管内部環境維持 ○洗浄可能な金属：ステンレス、鉄、銅、真鍮など
注意点	○アルミ洗浄、希釈してから洗浄する ○PH値を注意しながら超音波洗浄する ○鍍金面への洗浄は要注意
実用例	○温調器、チラ水管内部リンス洗浄 (IS1と合わせて使用) ○金型スケール除去、メンテナンス洗浄 (IS1と合わせて使用) ○プラスチック製品、金属製品表面洗浄、脱脂洗浄、防錆処理、水管内部洗浄

①

錆び取りと洗浄

金属表面汚れ除去処理



用意するもの

○蓋のあるプラ容器

○IS1

使用方法；

対象金型を浸漬する。

(注意、金型は必ず液面の下に)

浸漬時間；

5分い〜10分

②

水で金型を一回軽く洗ってください。(2秒)(重要)

(水のPH値を注意し、酸物質がJS2に入らないように、心かけましょう)

中和

③



○IS2で超音波洗浄

洗浄と金属表面保護

④



○自然乾燥および強制送風乾燥

洗浄完了→乾燥

工場様の悩みを徹底的に解決

本当に新しい機械を買うんですか？まず水管内の**徹底的洗浄**を試してください。なるほど！

成形機、温調器、熱交換機、冷却水システムの内部配管洗浄＋コーティング工事

最近、工場循環水の流量がかなり小さくなっている

成形不良品が増えている。温調機の調子が悪いかも

工場の電気代が年々高くなっている

冷却水が全然冷たくなっていない？熱交換器も怪しい？

毎日配管水と戦っている、配管取り替えるのはお金が掛かる

金属部品が高いのに、もう錆だらけで使えない

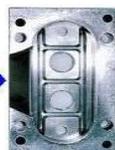
クーリングタワーの水が茶色になっている、臭いし、困るね



洗浄＋コーティング（不動膜コーティング）

機械の寿命を大幅に伸ばします。

水管の内部環境を整え、生産がスムーズに



小さいネジ部品から大きいブランドまで、弊社は今まで経験を活かし、お客様に満足出来る加工を致します。



目指す；時短、安全、コストパフォーマンス

求める効果；生産安定、品質安定

弊社は薬品の製造と販売だけではないんです。

専門知識を持っているスタッフが工場中で、現場施工。お客様のそばでご自身の目で洗浄効果をお確かめて頂きたいと思えます。

IS CLEANER Q&A

Q: IS CLEANERは燃えないのですか？

A: 溶剤系の工業用洗浄液と異なり、100%水液タイプの製品でございますので、燃焼の心配はございません。

Q: IS CLEANERは危険物として扱われますか？

A: IS CLEANERは通常の工業用洗剤です。有害物質ではなく、揮発性や引火性もありません。ただし、その効果は、強力な酸やアルカリ性の化学物質と同等です。

Q: IS CLEANERの廃棄について専門業者に依頼するんですか？

A: ご安心ください。IS CLEANERの廃棄に関しては、専門業者に依頼する必要はありません。IS CLEANERは水を使ってPHを調整することができます。また、IS1を使用して廃液（残液）を処理すると、トイレの排水管の詰まりを防ぐのに役立ちます。IS2は工場の床掃除や5S活動にも利用できます。この生分解性の洗剤は環境に配慮されているので、一般排水として廃液を処理することが可能です。

Q: 洗浄中に人の手に触れた場合は問題ないですか？

A: 人の手が洗浄中に触れても問題ありません。IS1とIS2は皮膚組織に反応しないので、安全です。たまに肌が弱い方もいますが、その際は薄手の手袋で対応すれば大丈夫です。肌が敏感な方は水で洗えば問題ありません。

Q: 洗浄効果はどのぐらい維持しますか？

A: S1に関してですが、浸漬用のみのため、長期間ご使用いただけます。PH値が一定であれば、効果が期待できると考えます。わずかに液体が汚れていても、錆や硬いスケールの汚れを柔らかくする力は維持されています。PH値が3以上になりましたら、新しい液体に交換してください。

IS2については、大量の油汚れや粒子汚れが液体内に残るため、PH値が徐々に変化していきます。PH値が約10に達したら、新しい液体に交換してください。（交換タイミングは各洗浄液の汚れ具合とPH値で管理してください）

Q: IS1, IS2ほかに使える用途はありますか？

A: 金型洗浄のほかに、工場中あらゆる錆、油汚れがひどい治具や、工具、ねじなどのものを同様な手順で洗い、新品に生まれ変わらせます。これにより、工場備品コストが削減されます。

Q: ゴム、プラスチック、アルミに対する腐食はありますか？

A: IS1、IS2は金属、ゴム、プラスチックに対して腐食のリスクがないため、安心してご利用いただけます。ただし、アルミ製品をIS1で直接洗浄しないでください。洗浄が必要な場合は、事前に希釈し、少量を試してからご使用ください。洗浄時の適切な希釈率は5～10倍です。

Q: IS1とIS2必ず一緒に使わなければならないのですか？

A: IS1の主要な役割は酸と頑固な汚れからの除去です。また、形成ガスを取り除きます。洗浄後、ただ放置しておくと、金属表面に錆が生じる可能性があるため、必ずご注意ください。中和（水洗浄による中和）を行わないと、金属表面は酸性になり、錆びやすくなります。中和し、IS2で処理すると、金属表面のアルカリ性が10に保たれ、金属表面の保護層が形成されます。このプロセスは金属を保護する役割があります。そのため、IS1とIS2を組み合わせ使用することをお勧めします。

Q: 温調器一台を洗浄する際、目安として使用量はどのぐらい適切でしょうか？

A: 温調器を洗浄する際は、通常IS1およびIS2を各4Lから5Lほどご用意いただくと良いでしょう。金型を洗浄する場合は、その大きさに応じて必要な使用量が異なります。

金型、水管内部セルフ洗浄 アクセサリー IS partner



*製品デザイン変更の場合があります。ご了承ください

工場の温調器メンテナンス、金型水路洗浄、チラ洗浄この一台で
簡単にできます。

カスタム製品のご質問やお問い合わせについては、
泉商事までお気軽にお問い合わせください。

IS CLEANER 現場の声で出来た第三世代工業用洗剤です



ステンレス製品専門工場
トヨウラ

プロが選ぶIS CLEANER。SAKAI GROUP自社工場でも実践使用中。高い信頼性と使いやすさで10年以上の歴史を誇ります。プラスチック成型金型から水管内部まで、工場のクリーニングニーズをしっかりサポート。



SAKAI GROUP



金属製品専門工場
泉商事第一工場



プラスチック製品専門工場
泉商事第二工場



金属とプラスチック製品の総合工場
上海坂井塑料有限公司



製品に関するお問い合わせ

150-0031

東京都渋谷区桜丘町22-14 N.E.SビルN1A

TEL : 03-6427-8841

プロダクトマネージャー：榊原 まで

e-sakakibara@sakai-group.com